

各所属長 様
関係者 様

熊本県特別支援教育研究会
会長 市原 浩幸

第59回 熊本県特別支援教育研究会夏季研修会 第2次案内

1 大会主題 「すべての子どもが夢をはぐくみ、生き生きと輝く、特別支援教育の推進」
～一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援のあり方～

2 趣 旨

平成28年12月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」答申が出されました。その中で、今後予測困難な時代に向けて「生きる力」の理念の具体化と教育課程の課題を解決していくために、学習指導要領の枠組みの改善、「社会に開かれた教育課程」の実現等が求められています。

特別支援学校の学習指導要領においては障がいのある子どもたちの学びの場の柔軟な選択を踏まえ、幼稚園、小・中・高等学校の教育課程との連続性を重視するとともに、一人一人に応じた指導の充実、自立と社会参加に向けた教育の充実を図るために改訂が行われています。また、小中学校の学習指導要領においては、教育課程全体を通じたインクルーシブ教育システムの構築を目指していくために、障がいのある児童生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うことと示されています。障がいの有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供についてより一層の充実を図っていくことが、すべての子どもたちの可能性を最大限に発揮していくことにつながるのではないかと考えます。

本研究会では、教育現場で活躍されている先生方の日々の実践を通して、子どもたちの教育的ニーズに応じた指導や支援のあり方等についての協議を深め、将来の「自立と社会参加」に向けた取組に繋げていきたいと考えています。

3 期 日 平成30年8月3日(金)

4 会 場 全体会 市民会館シアーズホーム夢ホール
分科会 市民会館シアーズホーム夢ホール
国際交流会館
熊本県民交流会館パレア

5 主 催 熊本県特別支援教育研究会

6 後 援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会
(社)熊本県手をつなぐ育成会
熊本県特別支援学級等設置学校長会
熊本県特別支援学校知的障害教育校長会

7 日 程

	9	10	12	13	14	15	16
		30		15(30)	30(45)		
	受 付	開 会 行 事	講 演 120分	昼食・移動 打ち合わせ	受 付	分 科 会 150分(135分)	閉 会

※国際交流会館、熊本県民交流会館パレアでの分科会は、会場への移動があるため()の時間で実施する。

8 講演 演題 「すべての子どもの学びを促進する応用行動分析学の実践を学ぶ」
 講師 行動コーチングアカデミー 奥田 健次 先生

9 分科会

分科会名	テーマ	発表形式	提案者	司会者	記録者	助言者
1 日常生活の指導	主体的に取り組む姿を求めながら、個々に合わせた日常生活の指導のあり方について	提案協議助言	熊本市立楠小学校 嶽本友美 熊本県立松橋西支援学校 松尾かおり	長洲町立腹栄中学校 長崎辰美	氷川町立竜北東小学校 松本恵理子	熊本大学教育学部附属特別支援学校 教頭 鶴田雄二
2 生活単元学習	子どもが主体的に取り組める単元の設定や、地域や学校の特性に合わせた実践について	提案協議助言	八代市立植柳小学校 森川隆一 熊本県立小国支援学校 山下修生	熊本市立藤園中学校 井上裕子	熊本県立球磨支援学校 長田哲也	熊本市教育委員会総合支援課 指導主事 福永光昭
3 教科別の指導	個に応じた指導のあり方や、一人ひとりに合わせた教材・教具の工夫について	提案協議助言	長洲町立腹赤小学校 中尾優作 熊本県立ひのくに高等支援学校 木崎春菜	熊本県立大津支援学校 奥田隼人	熊本市立楠小学校 平田聡子	熊本県教育庁特別支援教育課 指導主事 平川幸代
4 作業学習	主体的に取り組む作業学習の展開や、個に応じた作業内容や方法の工夫について	ポスターセッション	山鹿市立山鹿中学校 吉田幸生 熊本県立荒尾支援学校 原口一行	熊本県立荒尾支援学校 高本浩一郎	熊本県立菊池支援学校 村上裕子	熊本県立荒尾支援学校 教頭 池本利直
5 進路指導	一人一人に応じた進路決定までの取り組みや、卒業後の進路保障のあり方について	ポスターセッション	熊本市立錦ヶ丘中学校 米村裕美 熊本県立大津支援学校 岩切昭仁	宇城市立松橋中学校 山内貴子	益城町立広安西小学校 井上貴美子	
6 自立活動	生活の質を高めるための目標設定と支援のあり方	提案協議助言	水保市立水保第二小学校 林 亜紀子 八代市立八代支援学校 藤井敦子	熊本県立ひのくに高等支援学校 平井和人	熊本県立熊本支援学校 野々原昇太	熊本市立藤園中学校 教頭 竹内賢二
7 コーディネーターの役割とセンター的機能／交流及び共同学習	校内支援体制づくりと連携、関係機関の活用／共に学び、豊かに育ち合う交流及び共同学習のあり方	提案協議助言	菊池市立隈府小学校 丸山久美子 熊本県立天草支援学校 根岸小都恵	熊本県立小国支援学校 井芹翔吾	天草市立有明中学校 安成美保	九州ルーテル学院大学 心理臨床学科 教授 河田将一
8 ことば・きこえについての指導	ことばやきこえに課題のある子どもの指導について	提案協議助言	御船町立木倉小学校 倉岡裕美子 玉名市立玉名町小学校 竹下和宏	熊本市立託麻東小学校 吉田由起子 八代市立代陽小学校 井上貴美子	熊本市立城山小学校 陣内千華子 熊本市立慶徳小学校 栗木利江子	熊本県立熊本聾学校 校長 五瀬 浩

10 経費 参加費 会員 ……1,000円(1日参加・半日参加とも)
※当日受付にてお支払い下さい。 会員外……1,500円(1日参加・半日参加とも)

11 申し込みについて

- ・個人での申し込みになります。
- ・ホームページ上からのみの申し込みです。

◎ホームページからの申し込み方法は以下の通りです。

申し込み期間
6月25日(月)～7月25日(水)

くまもとけんとくけん 検索

①まずは、「くまもとけんとくけん」で検索。
※QRコードもご利用ください。↓



②こちらがトップページです。
赤丸部分をクリックして申し込みページに進みます。



③「参加申し込みはこちら」ボタンをクリックすると、「こくちーずプロ」というイベントページに移動しますので、そちらから申し込みを行ってください。
※留意点を必ずご確認ください。

留意点

- ・「自閉スペクトラム症」と「LD・ADHD」の分科会の申し込みは、共催しております九州地区情緒障害教育研究会（熊本大会）より申し込みをお願いします。
- ・本年は当日の申し込みも受け付けますが、会場や資料等の不足により、席がなかったり、資料を受け取ることができなかつたりする場合がありますことをご了承ください。
- ・申し込みにはメールアドレスが必要です。（1つのアドレスで1人の申し込みです。）
- ・受信確認が可能なメールアドレスをご準備いただき、申し込み後に送られてくる自動返信メールを必ずご確認ください。
- ・携帯メール等で迷惑メール対策をしている方は、「kokuchpro.com」ドメインからのメール受信を許可してください。
- ・夏季研申し込みにあたって、こくちーずプロへの会員登録は必要ありません。
- ・申し込みのキャンセルは、申し込み期間内であれば可能です。ただし、ご自身でキャンセルを行う必要があります。
- ・熊本県特研事務局員、運営協力者・提案者・司会者・助言者・記録者の方の申し込みは不要です。
- ・参加費は、当日受付にてお支払いください。
- ・申し込みに関するお問い合わせは右記までお願いします。

熊本県特研事務局 運営部
熊本市立西原小学校 弥永満之
電話：096-382-3461

12 その他

- ① 駐車場は、全体会場・分科会場共に用意しておりません。近くの有料駐車場を利用されるか、公共の交通機関を利用してください。
- ② 必ず受付を済ませてください。午後の分科会のみ参加の方も分科会開始前に済ませてください。
(全体会の受付ブースをお名前のあいうえお順毎に8箇所準備しております。
また、原則として当日の分科会変更は受け付けいたしません。)
- ③ 会場での掲示、印刷物の配布等の希望者は、運営上必ず1週間前までに事務局にお知らせください。事務局で検討いたします。
- ④ 各分科会会場の定員をこえた場合、立ち見をお願いする場合があります。ご理解の上ご協力をお願いします。

【会場案内図】



全体に関する問い合わせ先

熊本県特別支援教育研究会事務局 田口 由美香
熊本市立田迎南小学校 〒862-0965 熊本市南区田井島3丁目12-1
TEL:096-378-6405